

特定非営利活動法人

日本プロフェッショナルエンジニア協会

第11回通常総会

平成23年6月4日

議案

第1号議案 平成22年度活動報告、及び
決算承認の件

第2号議案 平成23年度活動計画案、及
び予算案審議の件

第3号議案 新役員選任の件

第1号議案 平成22年度活動報告と決算

平成22年度事業報告書

自 平成22年4月01日 至 平成23年3月31日

平成22年度は、Pursuit of Global Professional Integrity

「グローバル社会で認められるプロフェッショナリズムを求めて」

というモットーのもと、様々な活動を行いました。

まず、NCEES 主催 JPEC 実施の PE/FE 試験に関する会員や外部団体への支援活動を積極的に実施しました。また技術者としての資質向上に役立つ各種セミナーを企画主催しました。

さらにこの年は JSPE 設立 10 周年を記念して、いくつかの記念行事を行いました。

また、年度末（3月11日）に発生した東日本大震災に対応して、義援金募集や原発技術のセミナーなどの取り組みを開始しました。

2010年度の活動は具体的には、

- i. 会員への継続学習・技術向上の機会提供のため、以下を実施しました。
 - CPD セミナー（技術、環境、国際情勢など及びプロジェクトマネジメント）
 - 現場見学会
 - ビズネス英語コース及びエンジニアズサロン
- ii. FE 会員の PE 受験対策支援、および準 PE 会員の PE 登録支援として、PE 受験・登録セミナーを実施しました。
- iii. 日本で実施された PE/FE 試験の支援・普及のため、以下を実施しました。
 - PE/FE 試験の JPEC 支援（会場設営補助、プロクター派遣など）
 - PE/FE 合格祝賀会を開催（JPEC との共催）
 - PE の州登録手続きの各州別の参考情報収集と発信
- iv. マガジンを 年 4 回発刊しました。
- v. NSPE の年次総会参加や、国内でのイベント開催などを通じ、NSPE、NCEES、AEE、韓国技術士会等との国際交流を図りました。
- vi. HP の充実を図りました。IT 利用の新しい情報発信手段（ライブ等）を継続検討中です。
- vii. 10 周年記念行事（記念誌、記念品）

（文中略称）

JPEC: The Japan PE/FE Examiners Council（日本 PE・FE 試験協議会）

NSPE: National Society of Professional Engineers

NCEES: National Council of Examiners for Engineering and Surveying

AEE: Association of Energy Engineers Kanto Plain Chapter（在日米軍 PE）

以下に平成22年度に行いました事業の概要を報告します。

1. 会員数の状況	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在
PE 会員	147	154(+7)
準 PE 会員	33	41(+8)
EIT 会員	157	137(-20)
一般会員	26	32(+6)
学生会員	2	2(0)
合計	365	366 (+1)

2. <u>総会開催</u>	第10回通常総会 平成22年6月12日東京グランドホテルにて
平成21年度事業・決算報告承認 平成22年度事業・予算計画承認	
3. <u>理事会開催</u>	通常理事会 計12回開催
4. <u>セミナー開催</u> <ul style="list-style-type: none"> ● CPDセミナー（鬼金セミナーを含む） ● 特別CPDセミナー ● 現場見学会 ● ビジネス感覚養成セミナー ● 英語コミュニケーションセミナー ● PE受験・登録セミナー 5. <u>記念行事</u> <ul style="list-style-type: none"> ● イヤーエンドパーティー ● PE、FE合格祝賀会（2回） 6. <u>PE/FE試験応援（日本PE・FE試験協議会の要請による）</u> <ul style="list-style-type: none"> ● PE/FE試験（試験会場：明治大学） ● PE/FE試験（試験会場：お茶の水女子大学） 7. <u>エンジニアズサロン（討論会・勉強会）</u> <ul style="list-style-type: none"> ● 「エンジニアズサロン」（東京、横浜） 8. <u>国際交流</u> <ul style="list-style-type: none"> ● NSPE (1) Annual Meeting (Orlando, FL) に参加。JSPE10周年をアピールするとともに各州と交流の機会を持った。 ● KPEA（韓国技術士会）懇談 9. <u>他の組織との交流</u> <ul style="list-style-type: none"> ● PMI日本支部, 日本機械学会（SSE研究会）等 10. <u>JSPE マガジン発行</u> 11. その他（故大久保前監事追悼会をPMI日本支部有志と非公式共催）	18回（内、関西11回） 1回（総会時） 2回（京都国際会議場他） 5回 5回 2回 平成22年12月4日（関西）、 平成22年12月18日（東京） 平成22年9月18日（東京） 平成23年3月5日（東京） 平成22年4月18日 平成22年10月31日 東京5、横浜6 合計11回 平成22年7月14日～18日 平成22年6月12日 4回 平成22年9月11日

部会ごとの活動の概要を以下に示します。	
● 企画部会	エンジニアズサロン（計 7 回）、イヤーエンドパーティーを開催しました。 平成 22 年度事業報告書の立案、編集、校正、発行をしました。
● 教育部会	CPD セミナー、PMP のコースセミナー（鬼金セミナー）、コミュニケーションセミナー、PE 受験セミナー及び見学会を関東関西合計で計 32 回開催しました。
● 広報部会	ホームページの中身の改定を行いました。 全行事の案内および記録を発信しました。 総会の模様を web にてライブ配信しました。 E メールにて、PE 登録支援を含む各種問合せ対応を行いました。
● 渉外部会	NSPE、NCEES と交流を図り、各州との交流と各種改正情報を収集しました。KPEA との交流も実施しました。国内他団体との懇談を実施しました。
● 会員部会	会員募集活動を通して新規会員を得ました。 PE・FE 合格祝賀会を実施しました。 PE/FE 試験の会場設営等支援、プロクター派遣を行いました。
● 会計部会	会計業務全般、税務署対応を実施しました。 平成 22 年度決算報告をしました。 平成 23 年度予算を作成しました。
● 総務部会	理事会、総会を開催しました。2010 年度事業報告を東京都へ提出しました。 役員改正に伴う各種届出書類を法務局および、都庁へ提出しました。 10 周年記念行事を総会にあわせ実施しました。 JSPE マガジンを発刊しました。
(関西分会)	教育部会と共同で以下のセミナーと見学会を開催しました。 CPD セミナー(5 回)、PMP 鬼金セミナー(6 回)、PE 受験・登録セミナー(2 回) ものづくり見学会(2 回)。

第1号議案 平成22年度決算

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科 目	予算額	決算額	差 額	執行率
I 収入の部	(円)	(円)	(円)	
1 入会金収入	90,000	90,000	-	100.0%
2 会費収入				
・正会員会費	1,716,000	1,721,250	5,250	100.3%
・準会員会費	1,779,000	1,669,750	-109,250	93.9%
・賛助会員会費	50,000	-	-50,000	0.0%
会費収入合計	3,545,000	3,391,000	-154,000	95.7%
3 事業収入		※注記		
・研修、教育事業	1,889,000	1,813,000	-76,000	96.0%
・調査研究、情報収集/提供事業	217,500	216,170	-1,330	99.4%
・機関紙、出版物の発行事業	24,800	24,500	-300	98.8%
事業収入合計	2,131,300	2,053,670	-77,630	96.4%
4 補助金等収入	-	-	-	-
5 寄付金収入（個人寄付金）	200,000	100,000	-100,000	-
6 雑収入	-	-	-	-
7 基盤整備積立金取崩収入	-	-	-	-
8 受取利息	5,000	3,766	-1,234	75.3%
当期収入の部合計 (A)	5,971,300	5,638,436	-332,864	94.4%
II 支出の部				
1 事業費				
・研修、教育事業	2,218,000	2,011,869	-206,131	90.7%
・調査研究、情報収集/提供事業	1,980,000	1,186,968	-793,032	59.9%
・機関紙、出版物の発行事業	305,000	552,000	247,000	181.0%
事業費支出合計	4,503,000	3,750,837	-752,163	83.3%
2 管理費				
・役員報酬	-	-	-	-
・給料手当	111,111	111,111	-	100.0%
・福利厚生費	10,000	18,630	8,630	186.3%
・会議費	40,000	-	-40,000	0.0%
・旅費交通費	400,000	267,160	-132,840	66.8%
・通信運搬費	225,000	195,728	-29,272	87.0%
・消耗品費	50,000	1,511	-48,489	3.0%
・印刷製本費	150,000	105,530	-44,470	70.4%
・光熱水料費	-	-	-	-
・賃借料	315,000	315,000	-	100.0%
・保険料	5,000	-	-5,000	-
・租税公課	20,000	2,600	-17,400	13.0%
・渉外費	-	-	-	-
・広告費	-	-	-	-
・事務用品費	50,000	-	-50,000	0.0%
・図書新聞費	30,000	-	-30,000	0.0%
・手数料	40,000	14,538	-25,462	36.3%
・図書購入支出	-	-	-	-
・雑費	20,000	175,355	155,355	876.8%
管理費支出合計	1,466,111	1,207,163	-258,948	82.3%
3 予備費	500,000	-	-500,000	-
4 基盤整備積立金支出	-	1,500,000	1,500,000	-
当期支出の部合計 (B)	6,469,111	6,458,000	-11,111	99.8%
当期収支差額 (A) - (B) = (C)	-497,811	-819,564	-321,753	-
前期繰越収支差額 (D)		2,007,554		
次期繰越収支差額 (C) + (D)		1,187,990		

※注記: JPEC からの10周年記念事業協賛費 ¥200,000 (使途目的限定寄付金) を含む

第1号議案 平成22年度決算

平成22年度 特定非営利活動に係る正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科目・摘要	金額 (円)	
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 受取入会金	90,000	
② 正会員受取会費	1,721,250	
③ 準正会員受取会費	1,669,750	
④ 賛助会員受取会費	-	
⑤ 研修・教育事業収益 ※注記	1,813,000	
⑥ 調査研究等の事業収益	216,170	
⑦ 機関誌等の発行事業収益	24,500	
⑧ 受取利息	3,766	
⑨ 雑収入	-	
⑩ 寄付金収入(個人寄付金)	100,000	
経常収益計		5,638,436
(2) 経常費用		
① 研修・教育事業費	2,011,869	
② 調査研究等の事業費	1,186,968	
③ 機関誌等の発行事業費	552,000	
④ 管理費		
役員報酬	-	
給料手当	111,111	
福利厚生費	18,630	
会議費	-	
旅費交通費	267,160	
通信運搬費	195,728	
消耗品費	1,511	
印刷製本費	105,530	
光熱水料費	-	
貸借料	315,000	
保険料	-	
租税公課	2,600	
渉外費	-	
広告費	-	
事務用品費	-	
図書新聞費	-	
手数料	14,538	
為替差損	-	
雑費	175,355	
印刷物棚卸調整額	10,374	
什器備品原価償却額	-	
経常費用計		4,968,374
当期経常増減額		670,062
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益計		
該当なし	-	
経常外収益計		-
(2) 経常外費用		
該当なし	-	
経常外費用計		-
当期経常外増減額		-
当期一般正味財産増減額		670,062
一般正味財産期首残高		3,943,776
一般正味財産期末残高		4,613,838

※注記:JPEC からの10周年記念事業協賛費 ¥200,000 を含む。

第1号議案 平成22年度決算

平成22年度「特定非営利活動に係わる事業」会計貸借対照表

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科 目	金 額 (円)		科 目	金 額 (円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金	1,697,610		前受金	438,750	
貯藏品	91,059		未払金	96,600	
未収入金	235,990		未払費用	300,000	
前払費用	-		流動負債合計		835,350
仮払金	91,754				
流動資産合計		2,116,413			
2 固定資産			2 固定負債		
・特定資産			該当なし	-	
基盤整備積立金	3,092,114		固定負債合計		-
		3,092,114	負債合計		835,350
・その他固定資産					
什器備品	-		III 正味財産の部		
図書	208,321		前期繰越正味財産	3,943,776	
電話加入権	32,340		当期正味財産増加額	670,062	
固定資産合計		240,661	正味財産合計		4,613,838
資産の部合計		5,449,188	負債及び正味財産の部合計		5,449,188

第1号議案 平成22年度決算

平成22年度の特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科目・摘要	金額 (円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
・現金預金		
現金 手許在高	37,711	
ゆうちょ銀行/郵便貯金(振替口座)京橋支店	1,128,728	
普通預金/三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	531,171	
・貯蔵品		
PE受験Tips (新版残部:221冊@¥399)	88,179	
郵便切手 (会員部会保管)	2,880	
・未収入金		
未納年会費繰越未収額	234,750	
PE受験Tips販売代金未収入額	1,240	
・前払費用	-	
・仮払金 (事務局 業務用手元現金)	91,754	
流動資産合計		2,116,413
2 特定固定資産		
・基盤整備積立金 (ゆうちょ銀行/定額貯金保管)	3,092,114	
特定固定資産合計		3,092,114
3 その他 固定資産		
・什器備品	-	
・図書	208,321	
・電話加入権	32,340	
固定資産合計		3,332,775
資産の部合計:		¥ 5,449,188
II 負債の部		
1 流動負債		
・前受金		
会員年会費前受収入額	173,750	
鬼金分会CPDセミナー一括払い料金	265,000	
・未払金 (AJ:3月HP管理費+HP改良費用)	96,600	
・未払費用 (10周年出版事業費用)	300,000	
流動負債合計		835,350
2 固定負債		
該当なし	-	
固定負債合計		-
負債の部合計:		¥ 835,350
正味財産:		¥ 4,613,838

第1号議案 平成22年度決算

平成22年度特定非営利活動に係る比較貸借対照表

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

貸借対照表科目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
I. 資産の部：				
1. 流動資産				
現金預金	1,016,984	1,056,111	2,964,779	1,697,610
貯藏品	168,444	111,952	127,153	91,059
未収入金	265,524	302,200	125,000	235,990
前払金（前払費用）	-	200,000	-	-
仮払金	-	45,001	35,349	91,754
流動資産合計	1,450,952	1,715,264	3,252,281	2,116,413
2. 固定資産				
・特定資産				
基盤整備積立金	1,581,960	1,584,958	1,588,584	3,092,114
・その他固定資産				
什器備品	169,318	52,725	-	-
図書	208,321	208,321	208,321	208,321
電話加入債	32,340	32,340	32,340	32,340
固定資産合計	1,991,939	1,878,344	1,829,245	3,332,775
資産の部合計：	¥ 3,442,891	¥ 3,593,608	¥ 5,081,526	¥ 5,449,188
II. 負債の部：				
1. 流動負債				
前受金	126,000	152,000	1,116,750	438,750
未払金	-	21,000	21,000	96,600
未払費用	-	-	-	300,000
流動負債合計	126,000	173,000	1,137,750	835,350
2. 固定負債				
固定負債合計	-	-	-	-
負債合計	126,000	173,000	1,137,750	835,350
III. 正味財産の部				
前期繰越正味財産	3,189,666	3,316,891	3,420,608	3,943,776
当期正味財産増加	127,225	103,717	523,168	670,062
正味財産合計	3,316,891	3,420,608	3,943,776	4,613,838
負債及び正味財産の部合計：	¥ 3,442,891	¥ 3,593,608	¥ 5,081,526	¥ 5,449,188

第1号議案 平成22年度決算

以上の通りご報告申し上げます。

平成23年 5月 6日

会長 土屋 雅彦



監 査 報 告 書

日本プロフェッショナルエンジニア協会監事は、同法人の平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日）までの事業報告に関して、理事の業務執行状況および法人の財産状況について、監査を実施しました。

その結果、同法人の事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録は適正と認めます。

平成23年 5月 6日

監事 竹政 一夫

竹政一夫 

監事 日野 隆

日野隆 

平成23年04月01日

176-0002
東京都練馬区桜台1-2-8-506
泉澤様方

日本PE協会様

東京貯金事務センター

送付書

いつもゆうちょ銀行をご利用いただき、誠にありがとうございます。
さて、先日ご請求のありました振替口座残高証明書を送付いたしました
ので、ご査収ください。

問い合わせ先

東京貯金事務センター 振替口座課

TEL：048-600-3560 受付時間：平日 8:30～17:15

振替口座残高証明書

口座番号	00120 - 3 - 562335
------	--------------------

加入者名	日本PE協会
------	--------

平成23年3月31日 現在の口座現在高

***** 1,128,728 円

上記のとおり証明します。

日 附 印



貯金残高証明書

日本プロフェッショナルエンジニア協会 様

ご請求のありました、日本P.E協会 様名義の貯金の平成23年3月31日現在における貯金の残高は、下記のとおりであることを証明いたします。

練馬桜台郵便局長



記

貯金の種類	記号番号	残高 又は元金	備考
定期郵便貯金	50520-1253892-01	1,000,000円	「平成23年3月31日現在の 解約残高5,715円(仮出簿)」
定期郵便貯金	50520-1253892-02	580,000円	「平成23年3月31日現在の 解約残高6,399円(仮出簿)」

注1 この証明書の金額は訂正いたしません。

注2 積立郵便貯金、定期郵便貯金、定期郵便貯金、住宅積立郵便貯金及び教育積立郵便貯金（預入期間等の経過により通常郵便貯金となっているものを含みます。）につきましては、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構が管理する郵便貯金です。当行は、同管理機構から郵便貯金管理業務の委託を受けて証明しています。

貯 9254887

1009.71

貯金残高証明書

日本プロフェッショナルエンジニア協会 様

ご請求のありました、特定非営利活動法人日本プロフェッショナルエンジニア協会 様名義の貯金の平成23年3月31日現在における貯金の残高は、下記のとおりであることを証明いたします。

練馬桜台郵便局長



記

貯金の種類	記号番号	残高 又は元金	備考
担保定期貯金	10190-398131-1	1,500,000円	「平成23年3月31日現在の 解約残高0円(仮出簿)」

注1 この証明書の金額は訂正いたしません。

注2 積立郵便貯金、定期郵便貯金、定期郵便貯金、住宅積立郵便貯金及び教育積立郵便貯金（預入期間等の経過により通常郵便貯金となっているものを含みます。）につきましては、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構が管理する郵便貯金です。当行は、同管理機構から郵便貯金管理業務の委託を受けて証明しています。

貯 9254887

1009.71

第2号議案 平成23年度活動計画と予算

平成23年度活動計画

自 平成23年4月01日 至 平成24年3月31日

2011年のJSPEのモットーは

Uncover Social Resilience
~from Restoration to Creation~

「今こそそう！社会的復元力・・・復興から創生へ」

としました。

2011年3月11日の東日本大震災を契機にして、この未曾有の大災害から私たちは多くの教訓を学び、これまでも成し遂げてきた様に、いち早く社会を復興させるのみならず、更には今まで以上により社会を構築しなければなりません。私達エンジニアもその社会的責任を再確認して、この復元力の一部になりたいと思います。

当協会としても、それに対応すべく、この大震災に関連した事象に深い関心を払い、得られた知識や経験を世界に向けて発信していく活動を企画していきたいと考えています。そこで、今年度の重点項目として以下のものを企画したいと思います。

- I. 東日本大震災等に関連する技術的テーマについて検討タスクフォースを結成します。
- II. 技術者倫理事例研究会を立ち上げます。
- III. PE試験情報の発信・サポート及び州登録支援体制を強化します。
 会員相互の業務・技術に関する情報交換の場を増やして参ります。

具体的には、以下の活動を計画しております。

<p>1. <u>教育活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● CPDセミナー ● 特別CPDセミナー ● PE受験・登録セミナー ● プロジェクトマネジメントセミナー ● 英語コミュニケーションセミナー 	<p>年8回(東京5回、関西3回) 年1回 (総会時) 年2回(東京、関西) 年13回(東京3回、関西10回) 年10回</p>
<p>2. <u>記念行事</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● イヤーエンドパーティー ● PE、FE合格者祝賀会開催 	<p>12月 (東京、関西) 3月 (東京)</p>
<p>3. <u>PE/FE試験応援 (日本PE・FE試験協議会への応援)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● PE/FE試験 	<p>10月 (東京)</p>
<p>4. <u>エンジニアズサロン・カフェ (討論・勉強・交流会) 開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「エンジニアズサロン」(東京) ● 「YES」(横浜) 	<p>年5回 年6回</p>
<p>5. <u>国際交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● NSPE 年次総会への参加 	<p>7月</p>
<p>6. <u>他の組織との交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在日米軍エンジニア協会 (AEE) との共同会議 	<p>年1~2回</p>

<ul style="list-style-type: none"> ● Engineer' s Week への参加 	3月
<p>7. <u>広報活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホームページ改訂 ● JSPE マガジン発行 	<p>年1回 年4回</p>
<p>8. <u>理事会・総会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事会 ● 総会 	<p>年12回 6月(東京)</p>
<p>9. <u>10周年記念行事(継続)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出版 	<p>随時</p>
<p>10. <u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方部会発足・支援 ● 図書購入 ● 大学・企業へのPE制度、JSPEの認知活動 ● 事業報告書作成 ● 東日本大震災義援金募集 	<p>随時 年1回 随時 年1回 4月～5月</p>

これらを実現していくために、以下の点を強化していきます。

1. 新入会員の獲得(会員数の増加)とJSPE会員へのサービス(特に州登録の支援)
2. JPEC(日本PE/FE試験協議会)との連携の強化
3. 広報活動(国内外)の強化
4. 賛助会員・協賛企業の獲得
5. 女性会員の増加と地域・ライフスタイル等の多様化に対応した会員サービスの改善
6. 役員は技術者倫理の普及及び定着のためのアクションを起こす

第2号議案 平成23年度予算

平成23年度 特定非営利活動に係る事業収支予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会

科 目	平成22年度決算額	平成23年度予算額	差 額
	(円)	(円)	(円)
I 収入の部			
1 入会金収入	90,000	72,000	-18,000
2 会費収入			
・正会員会費 (PE)	1,721,250	1,794,000	72,750
・準会員会費 (PEN, FE, AF, ST)	1,669,750	1,589,000	-80,750
・賛助会員会費	-	100,000	100,000
会費収入合計	3,391,000	3,483,000	92,000
3 事業収入			
・研修、教育事業	1,813,000	2,126,000	313,000
・調査研究、情報収集/提供事業	216,170	175,000	-41,170
・機関紙、出版物の発行事業	24,500	24,800	300
事業収入合計	2,053,670	2,325,800	272,130
4 補助金等収入	-	-	-
5 寄付金収入	100,000	-	-100,000
6 雑収入	-	20,000	20,000
7 受取利息	3,766	5,000	1,234
当期収入の部合計 (A)	5,638,436	5,905,800	267,364
II 支出の部			
1 事業費			
・研修、教育事業	2,011,869	2,475,000	463,131
・調査研究、情報収集/提供事業	1,186,968	1,537,750	350,782
・機関紙、出版物の発行事業	552,000	304,800	-247,200
事業費支出合計	3,750,837	4,317,550	566,713
2 管理費			
・役員報酬	-	-	-
・給料手当	111,111	111,111	-
・福利厚生費	18,630	20,000	1,370
・会議費	-	40,000	40,000
・旅費交通費	267,160	401,000	133,840
・通信運搬費	195,728	250,000	54,272
・消耗品費	1,511	50,000	48,489
・印刷製本費	105,530	150,000	44,470
・光熱水料費	-	-	-
・賃借料	315,000	315,000	-
・保険料	-	-	-
・租税公課	2,600	20,000	17,400
・渉外費	-	50,000	50,000
・広告費	-	-	-
・事務用品費	-	50,000	50,000
・図書新聞費	-	30,000	30,000
・手数料	14,538	40,000	25,462
・雑費	175,355	70,000	-105,355
・東日本大震災社会貢献費用	-	300,000	300,000
管理費支出合計	1,207,163	1,897,111	389,948
3 予備費	-	100,000	100,000
4 基盤整備積立金支出	1,500,000	-	-1,500,000
当期支出の部合計 (B)	6,458,000	6,214,661	-243,339
当期収支差額 (A) - (B) = (C)	-819,564	-308,861	510,703
前期繰越収支差額 (D)	2,007,554	1,187,990	-819,564
次期繰越収支差額 (C) + (D)	1,187,990	879,129	-308,861

第3号議案 新役員選出の件

定款第14条に従い、下記新役員候補の承認をお願いします。

役職	会員番号	氏名	新・再任
理事	PE-0025	土屋 雅彦	再任
理事	PE-0081	神野 秀基	再任
理事	PE-0136	青木 豊加	再任
理事	PE-0106	金城 隆	再任
理事	PE-0084	西川 理	再任
理事	PE-0151	川村 武也	再任
理事	PE-0162	岩下 哲	再任
理事	PE-0059	木村 一夫	再任
理事	PE-0078	阪井 敦	再任
理事	PE-0002	竹政 一夫	新任
理事	PE-0150	平山 剛士	新任
理事	PE-0104	正岡 久和	新任
監事	PE-0009	日野 隆	再任
監事	PE-0055	丹下 稔章	新任